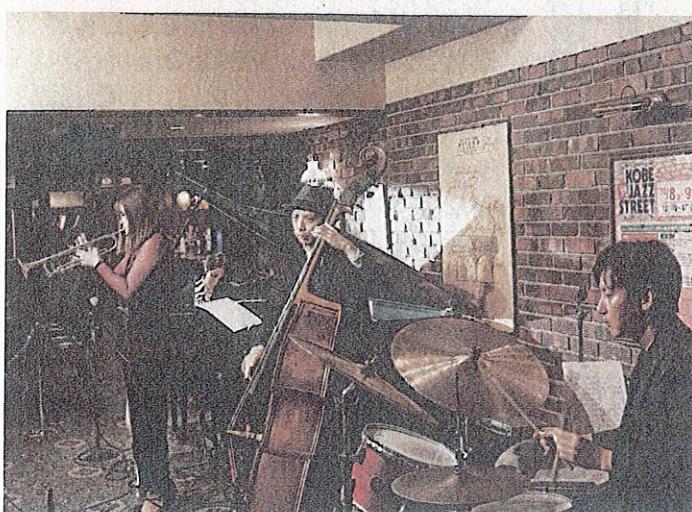


FROM KANSAS

神戸とジャズのあゆみ

1919(大正8)年	▶ フィリピン楽団の団員が神戸オリエンタルホテルでジャズ演奏
1923(大正12)年	▶ バイオリン奏者、井田一郎氏らが国内初の日本人プロジェクトバンド「ラフィング・スターズ」結成
1924(大正13)年	▶ 神戸、大阪にダンスホールが数軒登場
1940(昭和15)年	▶ 戦時下で全国のダンスホールが一斉に閉鎖
1959(昭和28)年	▶ 神戸で営業中のジャズ喫茶で最も古いとされる「喫茶ジバニア」開業。かつて江利チエミさんらも来店した
1969(昭和44)年	▶ ジャズレストラン「ソネ」開業
1971(昭和46)年	▶ 神戸村野工で国内初の高校ジャズバンド結成
1982(昭和57)年	▶ 第1回神戸ジャズストリート開催
2014(平成26)年	▶ 「ジャズの街神戸」推進協議会が発足
2023(令和5)年 4月	▶ 「ラフィング・スターズ」の演奏から100年



ジャズレストラン「ソネ」でのジャズライブ=神戸市中央区（鈴木源也撮影）

し「ほんまに歌つてええりかな」と恐る恐る舞台にあがつたという。披露したのは「テネシーワルツ」。「歌つているときは悪い」とでもしているようだつた」が、歌い終えると一人のおばあさんがそばにきて、涙ぐみながら石井さんの手を取つた。

「あの曲は、震災で亡くなった主人とダンスを踊つた思い出の曲でした。ありがとうございました」。自分の歌で少しでも人に元気や希望を与えるなら生涯歌いつづけよう、と決めた瞬間だった。

今でも毎週金曜日は生バ

すずき・げんや



取材中、ステージで歌い終わった石井順子さんの元へ駆け寄った男の子がいた。特に音楽経験があるわけではないというが、この子は初めて聞いたジャズに魅了され、石井さんへのサインと記念写真をねだっていた。「この子が将来、神戸ジャズを盛り上げる立役者になるのかな」。そんなことをふと思った。

港に響いて100年 神戸ジャズ物語

との玄関口となり、異国情緒あふれるモノや文化がやつて来た。ジャズもその一つ。1923（大正12）年に国内初の日本人プロジャズバンドが結成されたことから、神戸は「国内のジャズ発祥の地」とされる。今も「神戸ジャズストリート」などのイベントが開かれ、ジャズはミナト神戸に根づく。来年4月はジャズ発祥から100年。多くの人々の熱意に支えられた神戸のジャズ文化は、変わらない輝きを放ち続ける。

卷一百一十一

卷之三

ズバンド「ラフィング・スターーズ」は、宝塚管弦楽団に在籍したバイオリン奏者、井田一郎氏が中心となつて結成した。当時、「ジャズ」という言葉は浸透しておらず「踊るための曲」といった印象が強かつたことから、ラフイング・スターズは「ダンスバンド」や「ダンスマьюージック楽団」などと呼ばれていたという。バンドは市内のホテルや繁華街の旧居留地（同市中央区）のダンスホールなどで演奏を披露した。

終戦を迎えた1945年（昭和20年）、米軍の進駐軍キャンプなどからジャズは再び広がり、ラジオなどを通して親しまれるようになった。ナイトクラブやキヤバレーなどで盛んに演奏され、夜の街を彩った。

神戸・三宮でジャズバー「ヘンリー」を経営し、現在もジャズシンガーとしてステージに立ち続ける石井順子さん（84）。戦後の復興期、阪神・淡路大震災（平

秋を迎えた194

入ってきたルイ・アームストロングやジョージ・ルイスらのレコードをアレンジし、日本人が聴きやすく親しみやすい形にして演奏を続けたという。しかし、戦時下の1940年代にダンスホールは次々と閉鎖。ジャズは敵性音楽として日陰へ追いやられた。

A group of people are gathered in a workshop or studio setting. In the foreground, a woman with short blonde hair, wearing a white jacket over a patterned top, speaks into a handheld microphone. She is gesturing with her hands as she speaks. To her right, a man in a blue shirt and glasses is looking down at something on the table. Behind them, another man in a grey shirt and cap is partially visible. On the right side of the image, a man in a plaid shirt is seated at a table, focused on work. The background features wooden walls, shelves with various items, and framed pictures or maps on the wall. A guitar is leaning against the wall in the background.

現在も毎週金曜日に「ヘンリー」のステージに立つ石井順子さん(左端)=11日夜、神戸市中央区

若者に場残す

ジャズを熱唱する石井順子さん。力強い歌声は観客を魅了した!! 昭和30年ごろ
(本人提供)

ジに立ち、30曲以上の持ち歌で客を魅了する石井さん。10月に開催された「第39回神戸ジャズストリート」でもステージに上がり、若者から記念写真をせがまれていた。

関西の
初 新聞掲載
スケジュール

18日 東 部 駅伝

19日 兵庫 ジャズ

22日 和歌山 醬油釀造

23日 大阪 ビール

25日 奈良 奈良瀬

WEBでも読めます

QRコードを読み取ると
特集ページにアクセス
できます